

平成25年度 前期選抜の選抜・評価方法（予定）

学校番号 15

千葉県立幕張総合高等学校 全日制の課程 普通科

1 期待する生徒像

次のア又はイのいずれかの要件を具備する者

ア 学習成績がきわめて優秀なこと。

イ 学習成績が優秀で、部活動等において顕著な実績または優れた資質を有し、入学後も本校の部活動において積極的に活動する意志があること。

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の成績を資料とする。
(2) 調査書	全教科の評定を含む記載事項を資料とする。
(3) 自己表現	自己表現の結果を資料とする。
(4) 志願理由書	記載内容を資料とする。

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科の得点の合計により評価する。

(2) 調査書

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	全教科の評定の合計値を算式1により求めた値で評価する。評定1の教科がある場合、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	各学年において20日以上欠席がある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	総合的に判定するときの資料とする。
エ 特別活動の記録 及び部活動等の記録	総合的に判定するときの資料とする。
オ 総合所見	総合的に判定するときの資料とする。

(3) 自己表現

2名の評価者が自己表現の各評価基準に基づいた評価を行い、総合評価として、A・B・Cの3段階で評価する。

ア 日本語による口頭での自己アピールによる自己表現

評価項目	評価基準
(ア) テーマ	明確かつ学校や社会に対して貢献度の高いテーマか。
(イ) 内容	テーマと自分との関わり、きっかけや動機、自分が得たもの、今後の展望などについて考察し、しっかりと説明できているか。
(ウ) 表現力・意欲	表現力豊かにかつ意欲的に伝えているか。
(エ) 話し方	明瞭かつ正しい言葉遣いで話しているか。
(オ) 態度	面接の基本的作法ができているか。

イ 実技による自己表現（文化系）

評 価 項 目	評 価 基 準
(ア) 基礎技術	基礎的な技術を身に付けているか。
(イ) 表現力・実践力	表現力・実践力を身に付けているか。
(ウ) 独創性	独創性があるか。
(エ) 専門知識	専門的な知識を身に付けているか。
(オ) 将来性	将来にわたる活躍が期待できるか。

ウ 実技による自己表現（運動系）

評 価 項 目	評 価 基 準
(ア) 基礎運動能力	基礎的な運動能力を身に付けているか。
(イ) 意欲	意欲を持って取り組む姿勢が見られるか。
(ウ) 専門能力	専門的な運動能力を身に付けているか。
(エ) 専門技術	専門的な技術を身に付けているか。
(オ) 将来性	将来にわたる活躍が期待できるか。

(4) 志願理由書

評 価 項 目	評 価 基 準
志願理由	総合的に判定するときの資料とする。
自己アピール	総合的に判定するときの資料とする。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

本校の「期待する生徒像」に基づき、「学力検査の成績」，「調査書」，「自己表現の成績」，「志願理由書」等を総合的に判定して入学者の選抜を行う。

〔審議方法〕

ア 「学力検査の成績」が上位の者、または「自己表現の成績」がA評価でかつ「学力検査の成績」が良好な者について、「学力検査の得点」及び「調査書の評定合計値」の総合計により順位を付け、調査書及び志願理由書等の記載内容を資料とし、特に問題のない者から入学許可候補者を内定する。

イ 上記アで決まらなかった者については、「学力検査の得点」及び「調査書の評定合計値」の総合計により順位を付け、選抜のための各資料の内容等に特に問題のない者から入学許可候補者内定者とする。

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜のための資料に加え、提出されたことにより、不利益な取扱いをすることがないように十分に留意する。

5 その他

過年度生については、個人面接を行う。

学校番号 15

千葉県立幕張総合高等学校 全日制の課程 看護科

1 期待する生徒像

次のア及びイの要件を具備する者

ア 看護職への志望が強く、その理由が明確であること。また、相手の立場で理解することができ、思いやりに富み、創造力があること。

イ 学習成績が優秀で、出席状況が良好であること。なお、特別活動においても優れた実績があることが望ましい。

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の成績を資料とする。
(2) 調査書	全教科の評定を含む記載事項を資料とする。
(3) 面接	面接の結果を資料とする。
(4) 志願理由書	記載内容を資料とする。

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科の得点の合計により評価する。

(2) 調査書

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	全教科の評定の合計値を算式1により求めた値で評価する。評定1の教科がある場合、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	3年間の欠席の合計が10日以上ある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	総合的に判定するときの資料とする。
エ 特別活動の記録 及び部活動等の記録	総合的に判定するときの資料とする。
オ 総合所見	総合的に判定するときの資料とする。

(3) 面接

3名の面接委員が1名の受検者に対し、志願理由書の記載内容を踏まえ、約10分間の個人面接を実施する。面接委員は各評価基準に基づいた評価を行い、総合評価としてA・B・Cの3段階で評価する。

評価項目	評価基準
(ア) 志望動機	志望動機は明確であるか。
(イ) 興味・関心	看護職に対する興味・関心はあるか。
(ウ) 適性	看護職としての適性はあるか。
(エ) 中学校での生活状況	生活・出席状況が良好であるか。生徒会活動、部活動等に積極的に取り組んでいたか。
(オ) 態度	面接の基本的作法ができているか。

(4) 志願理由書

評 価 項 目	評 価 基 準
志願理由	総合的に判定するときの資料とする。
自己アピール	総合的に判定するときの資料とする。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

本校の「期待する生徒像」に基づき、「学力検査の成績」，「調査書」，「面接の成績」，「志願理由書」等を総合的に判定して入学者の選抜を行う。

〔審議方法〕

「学力検査の得点」及び「調査書の評定合計値」の総合計により順位を付け，調査書及び志願理由書等の記載内容を資料とし，面接の総合評価にCがついている場合は慎重に審議しながら，入学許可候補者を内定する。

(2) その他

自己申告書が提出された場合には，選抜のための資料に加え，提出されたことにより，不利益な取扱いをすることがないように十分に留意する。

5 その他

過年度生については，個人面談を行い，話を聞く機会を設ける。